



汐見台小学校区推進協だより

2025年3月 第26号
汐見台小学校区青少年育成推進協議会
会長 佐々木 睦子



私たち、青少年指導員です。

理事の和田 早絵です。毎月1回開かれる理事会は、各部会の報告と、学区推進協の活動報告や情報交換の場でもあります。また、市の有害図書回収や自然体験教室、交流事業のお手伝いの窓口になっています。青少年指導員の活動を通して、たくさんの貴重な経験をさせていただいています。今後も地域の皆さまと共に子ども達の為に活動していきたいと思います。（理事：和田早絵）

育成部会の主な活動は青少年育成ポスター展示です。毎年、茅ヶ崎市内の中学校の美術部に依頼して出来上がったポスターを市内のモールや市役所などに展示して今、子供達が抱えている不安や問題を題材にしたポスターを1人でも多くの人々に見ていただく事によって青少年育成のお手伝い出来る事を目指しております。今後も地域の皆様や子供達の為に活動していきたいと思います。

（育成部会 宮城紀子）



企画部会の西村奈穂子です。青少年の健全育成を目的とした事業を企画し実施しています。今年度は青少年会館フェスタにて、来場者にパターゴルフやバルーンアート体験してもらいました。来年度は「青少年指導員まつり」を開催予定で、色々な企画を準備中です。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

（企画部会：西村奈穂子）

研修部会の西城享子です。研修部会は指導員で保有している備品を地域の方々に貸し出す窓口です。部会では、備品の使い方の練習、他の指導員や子ども会の役員さんへの研修会の実施、青少年会館のお祭りなどへの参加をしています。備品には、ミュージックベル、パネルシアター、カードゲーム、紙芝居、けん玉やお手玉などがあります。使い方は指導員が説明しますので、子ども会や自治会行事などでぜひご利用ください。

（研修部会：西城享子）

広報部会のメインの活動は、一年に一回発行のお便り“えぼしいわ”の作成です。年間を通して行われる青少年指導員が関わるイベントの様子を撮影し、記事を書き、発行まで何回も見直しと校正を行います。本当に細やかな作業で、ここまでやるかとの思いに苛まれつつも、仕上がった時は感無量です。茅ヶ崎市内のタウンサイド、シーサイド、ヒルサイドの各地区の指導員が集まる月に一度の部会では、毎回有意義な情報交換が行われます。これからもより良い社会を実現するために、私たちの活動が小さな一歩だとしても、お役に立てることを信じて、明るく笑顔で活動してまいります。

（広報部会：小松真生）

中学生ボランティアの感想



- 自分が1回もやったことがないボランティア活動でしたけど、思ったより楽しくて仕事をやり切った時の達成感がすごかったです。それとつくる村に遊びにきてくれた人がちゃんと笑顔になって帰ってくれたのが自分はとてもうれしかったです。正直、もう一度、なぎさ村のボランティアに行きたいと思いました。（つくる村）
- いろいろな人と関わって楽しかったです。大人のボランティアの人も優しく丁寧で明るくとても楽しかったです。私は、普段家にこもってあまり人ともしゃべらず外にあまり出ないのですが、ボランティアの活動を知って、関わりがとても大切な事がよくわかりました。自分が卒業した学校に戻って、思い出にまたひたることができました。（つくる村）
- まなぶ村にきてくれた人は、みんな優しく心が温かい人たちだったので、来年もなぎさの子でお手伝いをしたいと思っています。ありがとうございました。（まなぶ村）
- 仕事内容もちょうどよい難しさで、ボランティアに適していた。（まなぶ村）
- 私は、食べる村で初めての参加だったので、最初はどう動いたらよいかわからず心配でした。でも各グループで協力し少しずつ売れていくフランクフルトがとてもうれしかったです。そして最後には、売れるか心配だったフランクフルトを売りきることができました。友達と協力し少しずつ手際よく役割分担しながらやるのが自然とできるようになっていくのがとても楽しかったです。（たべる村）
- いろんな子が遊びにきてくれて、楽しくおもしろかったボランティアだと思います。おまつり自体とても盛り上がっていて自分自身いろんな感情が湧き上がって、子ども達からなんだか元気をもらったと思います。意見としては「売り物がチケット制でのやり取りで得られる。」という仕組みについて、よい考えだと思う（たべる村）
- たくさんの子が笑顔で楽しんでた。ステージ村が近くてよかった。いろいろな子の発表を見ることができた。遊びを楽しんでいる子が多かったので、もっと深く関わってあげればもっと楽しんでくれると思った。（あそぶ村）
- 小学生や、その親御さんが、「ありがとう」「こんにちは」と言ってくれてやりやすかった。みんないい子なんだなあと考えた。楽しかったからまた来年も行きます。（あそぶ村）
- ステージ村で司会進行として様々なジャンルの人の発表を見ましたが、多くの人の演技があり、すごく楽しかったです。（ステージ村）

こえかけリボン

汐見台小学校学校運営協議会では、子どもたちの見守り活動で「こえかけリボン運動」を行っています。この活動は、児童が学区内でトラブルや危険に遭遇した際、安心して相談できる地域の信頼できる大人として活動する取り組みです。始動して1年が経過し、登録者数も50名に達するまでになりました。これから子ども達の安心のために活動していきたいと思っています。

1 (子どもをまもる)
「こえかけリボン」の活動が始まるよ！
2024年1月27日

1 最近、子どもが不審者に声をかけられたり、スマホで顔の写真を撮られたり、いやがらせをされる、などの行為が多く発生しています。これらのいやがらせ行為から子どもを守るために、信頼できる保護者がこの地域内を歩く時は「こえかけリボン」を目立つように身に付けて子どもを見守ります。

2 「こえかけリボン」を身に付けている保護者をCP (COUNSEL PARENT) と呼ぶことにします。CPと子ども達がすれ違った時にはお互いに挨拶をかわす習慣をつけましょう。

3 子ども達はいやがらせにあったり、悩みがあったり、誰かに頼りたいと思った時は、身近にいるCPに助けを求めましょう。

4 登校時の「見守り隊」は茅ヶ崎市のヒプスを身に付けて活動していますが、このヒプスを付けている子どもも大人も気軽に挨拶してくれます。この状況を日常とする為に、CPがヒプスの代りに「こえかけリボン」を身に付けて日常を過ごして子どもを見守ります。

5 この活動は汐小推進協の協力がないと実現出来ないと思います。学校運営協議会委員のメンバーが汐小推進協の理事でもあるので、運営協議会と汐小推進協が力を合わせて実行していきます。

汐見台小学校 学校運営協議会
(コミュニティスクール)

編集後記

今年度も大変お世話になりました。来年度も子ども達が楽しめるような活動を企画していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。（佐々木）



2025年3月 第26号
汐見台小学校区青少年育成推進協議会
会長 佐々木 睦子



私たち、青少年指導員です。

理事の和田 早絵です。毎月1回開かれる理事会は、各部会の報告と、学区推進協の活動報告や情報交換の場でもあります。また、市の有害図書回収や自然体験教室、交流事業のお手伝いの窓口になっています。青少年指導員の活動を通して、たくさんの貴重な経験をさせていただいています。今後も地域の皆さまと共に子ども達の為に活動していきたいと思っています。（理事：和田早絵）

育成部会の主な活動は青少年育成ポスター展示です。毎年、茅ヶ崎市内の中学校の美術部に依頼して出来上がったポスターを市内のモールや市役所などに展示して今、子供達が抱えている不安や問題を題材にしたポスターを1人でも多くの人々に見ていただく事によって青少年育成のお手伝いが出来る事を目指しております。今後も地域の皆様や子供達の為に活動していきたいと思っています。（育成部会 宮城紀子）



企画部会の西村奈穂子です。青少年の健全育成を目的とした事業を企画し実施しています。今年度は青少年会館フェスタにて、来場者にパターゴルフやバルーンアートを体験してもらいました。来年度は「青少年指導員まつり」を開催予定で、色々な企画を準備中です。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

（企画部会：西村奈穂子）

研修部会の西城享子です。研修部会是指導員で保有している備品を地域の方々に貸し出す窓口です。部会では、備品の使い方の練習、他の指導員や子ども会の役員さんへの研修会の実施、青少年会館のお祭りなどへの参加をしています。備品には、ミュージックベル、パネルシアター、カードゲーム、紙芝居、けん玉やお手玉などがあります。使い方は指導員が説明しますので、子ども会や自治会行事などでぜひご利用ください。（研修部会：西城享子）

広報部会のメインの活動は、一年に一回発行のお便り「えばしいわ」の作成です。年間を通して行われる青少年指導員が関わるイベントの様子を撮影し、記事を書き、発行まで何回も見直しと校正を行います。本当に細やかな作業で、ここまでやるかとの思いに苛まれつつも、仕上がった時は感無量です。茅ヶ崎市内のタウンサイド、シーサイド、ヒルサイドの各地区の指導員が集まる月に一度の部会では、毎回有意義な情報交換が行われます。これからもより良い社会を実現するために、私たちの活動が小さな一歩だとしても、お役に立てることを信じて、明るく笑顔で活動してまいります。（広報部会：小松真生）

中学生ボランティアの感想



- 自分が1回もやったことがないボランティア活動でしたけど、思ったより楽しくて仕事をやり切った時の達成感がすごかったです。それとつくる村に遊びにきてくれた人がちゃんと笑顔になって帰ってくれたのが自分はとてもうれしかったです。正直、もう一度、なぎさ村のボランティアに行きたいと思いました。（つくる村）
- いろいろな人と関わって楽しかったです。大人のボランティアの人も優しく丁寧で明るくとても楽しかったです。私は、普段家にこもってあまり人ともしゃべらず外にあまり出ないのですが、ボランティアの活動を知って、関わりがとても大切な事がよくわかりました。自分が卒業した学校に戻れて、思い出にまたひたることができました。（つくる村）
- まなぶ村にきてくれた人は、みんな優しく心が温かい人たちだったので、来年もなぎさの子でお手伝いをしたいと思っています。ありがとうございました。（まなぶ村）
- 仕事内容もちょうどよい難しさで、ボランティアに適していた。（まなぶ村）
- 私は、食べる村で初めての参加だったので、最初はどう動いたらよいかわからず心配でした。でも各グループで協力し少しずつ売れていくフランクフルトがとてもうれしかったです。そして最後には、売れるか心配だったフランクフルトを売りきることができました。友達と協力し少しずつ手際よく役割分担しながらやるのが自然とできるようになっていくのがとても楽しかったです。（たべる村）
- いろんな子が遊びにきてくれて、楽しくおもしろかったボランティアだと思います。おまつり自体とても盛り上がっていて自分自身いろんな感情が湧き上がって、子ども達からなんだか元気をもらったと思います。意見としては「売り物がチケット制でのやり取りで得られる。」という仕組みについて、よい考えだと思う（たべる村）
- たくさんの子が笑顔で楽しんでいて、ステージ村が近くてよかった。いろいろな子の発表を見ることができた。遊びを楽しんでいる子が多かったので、もっと深く関わってあげればもっと楽しんでくれると思った。（あそぶ村）
- 小学生や、その親御さんが、「ありがとう」「こんにちは」と言ってくれてやりやすかった。みんないい子なんだなあと考えた。楽しかったからまた来年も行きます。（あそぶ村）
- ステージ村で司会進行として様々なジャンルの人の発表を見ましたが、多くの人の演技があり、すごく楽しかったです。（ステージ村）

こえかけリボン

汐見台小学校学校運営協議会では、子どもたちの見守り活動で「こえかけリボン運動」を行っています。この活動は、児童が学区内でトラブルや危険に遭遇した際、安心して相談できる地域の信頼できる大人として活動する取り組みです。始動して1年が経過し、登録者数も50名に達するまでになりました。これから子ども達の安心のために活動していきたいと思っています。

|(子どもをまもる)|
“こえかけリボン”の活動が始まるよ！
2024年1月27日

- 最近、子どもが不審者に声をかけられたり、スマホで顔の写真を撮られたり、いやがらせをされる、などの行為が多く発生しています。これらのいやがらせ行為から子どもを守るために、信頼できる保護者がこの地域内を歩く時は“こえかけリボン”を目立つように身に付けて常に子どもを見守ります。
- “こえかけリボン”を身に付けている保護者をCP (COUNSEL PARENT) と呼ぶことにします。
CPと子ども達がすれ違った時にはお互いに挨拶をかわす習慣をつけましょう。
- 子ども達はいやがらせにあって、悩みがあったり、誰かに頼りたいと思った時は、身近にいるCPに助けを求めましょう。
- 登校時の“見守り隊”は茅ヶ崎市のビブスを身に付けて活動していますが、このビブスを付けていると子どもも大人も気軽に挨拶してくれます。この状況を日常とする為に、CPがビブスの代りに“こえかけリボン”を身に付けて日常を通い子どもを見守ります。
- この活動は汐小推進協の協力が無いと実現出来ないと思います。学校運営協議会委員のメンバーが汐小推進協の理事でもあるので、運営協議会と汐小推進協が力を合わせて実行していきます。

汐見台小学校 学校運営協議会
(コミュニケーション)

編集後記

今年度も大変お世話になりました。来年度も子ども達が楽しめるような活動を企画していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。（佐々木）

